

改訂「生きる力」を育む中学校保健教育の手引（追補版）
保健体育（保健分野）第3学年指導事例

感染症の予防

～新型コロナウイルス感染症～

本資料の活用について

本資料は、「改訂『生きる力』を育む中学校保健教育の手引」追補版として作成したもので、中学校保健体育（保健分野）第3学年の「感染症の予防」において新型コロナウイルス感染症を取り上げた指導事例です。

学習指導要領解説では、新型コロナウイルス感染症などの新興感染症について、高等学校の科目保健における「現代の感染症とその予防」の中で取り上げて学習することを想定していますが、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、指導の充実を図ることを考慮して作成したものです。

また、保健の学習以外においても、日常の指導の中でも、本資料に添付した参考資料などを用いて適切な指導が行われることを期待しています。

令和2年3月



文部科学省

中学校保健体育(保健分野)第3学年「感染症の予防」指導(例)

第3学年「(1) 健康な生活と疾病の予防」

1. 単元名「感染症の予防」(新型コロナウイルス感染症)

2. 単元の目標

- (1) 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解することができるようにする。
- (2) 感染症の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断するとともに、それらを表現することができるようにする。
- (3) 感染症の予防について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。

3. 単元について

病原体が主な要因となって起こる病気の予防については、小学校体育科保健領域で学習している。それらを踏まえて、ここでは、病原体が主な要因となって発生する感染症、発生源、感染経路、主体への対策による感染症予防について理解できるようにする必要がある。また、感染症の予防に関する課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにすることが必要である。

本単元では、感染症の予防について理解させることにより、生涯を通じて感染症の予防に必要なことを考えることができるようにしていきたい。

4. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<p>①感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減すること、また、自然環境、社会環境、主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で、病原体が身体に侵入し発病することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②感染症を予防するには、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることが有効であること、また、感染症にかかった場合は、疾病から回復することはもちろん、周囲に感染を広げないためにも、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①感染症の予防について、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。</p> <p>②性感染症の予防について、習得した知識を自他の生活と関連付け、疾病等にかかるリスクを軽減する方法を選択しているとともにそれらを他者に伝えている。</p>	<p>①感染症の予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

5. 指導と評価の計画（4時間）

	ねらい・学習活動	重点	評価方法
1 感染症	<p>感染症は、病原体が主な要因となって発生することについて理解することができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インフルエンザに感染する原因について考える。 2. 学習のねらいを知る。 3. 国によって流行する感染症が違うことについて考える。 4. 病原体の種類ごとの感染経路を調べる。 5. 本時の学習のまとめをする。 	知①	<p>(学習活動4)</p> <p>感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減すること。また、自然環境、社会環境、主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で、病原体が身体に侵入し発病することについて、言ったり、書き出したりしている状況を【観察・ワークシート】で捉える。〈知-①〉</p>
2 感染症の予防(本時)	<p>感染症の多くは発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることについて理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症が流行したときのことを想起する。 2. 学習のねらいを知る。 3. 新型コロナウイルス感染症を取り上げ、感染がどのように拡大したか知る。 4. 新型コロナウイルス感染症の予防方法について考える。 5. 感染症にかかった場合の対応を考える。 6. 本時の学習のまとめをする。 	思① 知②	<p>(学習活動4)</p> <p>感染症の予防について、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等に係るリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している状況について【観察・ワークシート】で捉える。〈思-①〉</p> <p>(学習活動4)</p> <p>感染症を予防するには、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることが有効であること、また、り患した場合は、回復することはもちろん、早く適切な治療を受けることが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている状況を【ワークシート】で捉える。〈知-②〉</p>
3 性感染症の予防	<p>性感染症の疾病概念や感染経路や、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 性感染症報告数のグラフを見て気付いたことを発表する。 2. 学習のねらいを知る。 3. 性感染症の疾病概念や種類を知る。 4. 性感染症を予防したり、広がりを防いだりする方法を考える。 5. 本時の学習のまとめをする。 	知③ 思①	<p>(学習活動3)</p> <p>性感染症の疾病概念や感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている状況を【ワークシート】で捉える。〈知-③〉</p> <p>(学習活動4)</p> <p>感染症の予防について、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等に係るリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している状況について【観察・ワークシート】で捉える。〈思-①〉</p>
4 エイズの予防	<p>エイズの疾病概念や感染経路や、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病気の特徴から病名を考える。 2. 学習のねらいを知る。 3. HIVの感染経路から、予防方法を考える。 4. 自分が感染しない方法を考える。 5. 本時の学習のまとめをする。 	能① 知③	<p>(学習活動3)</p> <p>感染症の予防について、課題の解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている状況を【観察】で捉える。〈態-①〉</p> <p>(学習活動5)</p> <p>エイズの疾病概念や感染経路や、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、言ったり書き出したりしている状況を【ワークシート】で捉える。〈知-②〉</p>



6. 展開例（2 / 4 時間）




(1) 感染症の予防

(2) 本時の目標

- ・感染症の多くは発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること、また、感染症にかかった場合は、疾病から回復することはもちろん、周囲に感染を広げないためにも、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることについて理解できるようにする。
- ・感染症の予防について、習得した知識を自他の生活に適用したり応用したりして、疾病等に係るリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択することができるようにする。

(3) 展開 : ねらい : 学習内容 : 発問・指示など

時間	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入 10分	<p>1. 新型コロナウイルス感染症が流行した時のことを想起する。</p> <p>○既習の感染症予防対策を確認する。【資料1】</p> <p>○感染を疑い差別的な扱いを受けた例を示す。【資料2】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(発問)</p> <p>・このような差別や偏見はなぜ起こるのでしょうか？ また、どうすれば防げるでしょう。</p> </div> <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気のことを科学的に理解していないから。 ・病気に対する不安があるから。 	<p>○小学校の学習内容が想起できるよう、対策のポイントを示す。</p> <p>○感染者等への差別や偏見の例を示す。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症が蔓延し、社会問題になった時の資料や新聞記事を示し、想起させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>正しい知識があれば、差別や偏見をなくすることができることを強調し、学習意欲を高めましょう。</p> </div> 
展開 20分	<p>2. 学習のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>感染症を予防するにはどうしたらよいか考えよう。</p> </div> <p>3. 新型コロナウイルス感染症を取り上げ、感染がどのように拡大したか知る。【資料3, 資料4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の感染状況 ・国内での感染状況 ・症状 ・発生源 ・感染の範囲 ・潜伏期間 ・感染経路 など <p>4. 新型コロナウイルス感染症の予防方法について考える。</p> <div style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(発問)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症はどうしたら予防できるでしょうか？</p> </div> <p><学習形態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合い（4人程度） ・一斉学習での情報共有 <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒や殺菌などにより発生源をなくす。 ・周囲の環境を衛生的に保つ。 	<p>○学習課題を提示し、本時のねらいを押さえる。</p> <p>○これまで世界で流行した感染症を示し、それらを乗り越えてきたことを理解させる。</p> <p>○新型コロナウイルスの感染状況の分布を示し、感染拡大のイメージがもてるようにする。</p> <p>○前時に学習した感染症の疾病概念や感染経路などに関する知識を想起するような資料を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>グルーピングや雰囲気づくりを工夫し、個々の意見を大切にしながら、活発な話し合い活動を促し、より多くの意見を引き出しましょう。</p> </div>  <p>○ICT等を活用し、情報を収集した上で、活用が可能なものを選択するよう助言する。 (厚生労働省HP, 国立感染症研究所HPなど)</p> <p>○インターネット等の情報の中から、正しい情報を精選して活用することが大切であることを助言する。【参考資料参照】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・うがい、手洗いなど感染経路を遮断する。 ・バランスのよい食事や十分な睡眠をとるなど身体の抵抗力を高める。 <p>5. 感染症にかかった場合の対応を考える。</p> <p>感染症にかかった場合は、疾病から回復することはもちろん、周囲に感染を広げないためにも、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であること。</p> <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症にかかってしまった場合、どのようなことに注意したらよいでしょう。 <p><学習形態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えをまとめる ・グループでの話し合い（4人程度） <p><予想される反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ○感染を広げないようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる場所に行かない。 ・マスクを着用する。 ・症状が軽くなっても出歩かない。 ・小さな子供や高齢者がいる場合には、特に配慮する。 ○疾病からの回復に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・早めに医療機関を受診する。 ・栄養を摂り、ゆっくり休む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「感染源の排除」、「感染経路の遮断」、「抵抗力を高める」の三原則に基づき整理するよう助言する。 ○感染症の予防について正しい知識を身に付け、判断することが大切であることを伝える。 <p>予防に注意していても、感染症にり患してしまうことがあるので、その時に適切な行動をとることが大切であることを伝えましょう。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○科学的根拠に基づき考えられるよう、提示資料等を工夫する。 ○感染症にり患してしまっても、その後の対応によって早期に回復したり、感染の拡大を防いだりすることができることを伝える。 <p>どのような行動をとるべきか考える際に、その理由も述べられるようにすることが大切であることを伝えましょう。</p>  <p>◆【思考・判断・表現】 学習活動4・5 感染症の予防について、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等に係るリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を考えている。（観察・学習カード）</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">まとめ8分</p>	<p>6. 本時の学習のまとめをする</p> <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、分かったことや考えたことを書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ○各自、学習カードに記入する。 ○学習カードに記入した内容を発表する。 ○本時を振り返るとともに、教師のまとめの話を聞く。【資料5】 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードの記入に当たっては、前時及び本時に身に付けた知識を活用して記述するよう助言する。 ○無用に恐れる病気ではないことや、今後の生活に希望がもてるメッセージを伝えるなど配慮する。 <p>新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の中には、未だ感染源や感染経路などがはっきりしていないものもあるため、その時点の最新の知見に基づき指導することに配慮しましょう。</p> 

(4) 学習カード (例)

感染症の予防 (新型コロナウイルス感染症)

年 組 氏名

本時のねらい : 感染症を予防するにはどうしたらよいか考えよう。

問 このような差別や偏見はなぜ起こるのでしょうか? また, どうすれば防げるでしょう。

問 新型コロナウイルス感染症はどうしたら予防できるでしょうか?

【グループの考え】

【学級全体の考え】

問 感染症にかかってしまった場合, どのようなことに注意したらよいでしょう。

【個人の考え】

【グループの考え】

問 本時の学習を振り返り, 感染症を予防するためにはどうしたらよいかまとめよう。

7. 他教科等との関連

(1) 特別活動との関連

本単元では、感染症の予防について課題を発見し、その解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことのできる学習活動を展開することで、現在及び将来の生活における感染症の予防に関する内容について理解を深め、自己の生活を適切に管理し改善していく思考力、判断力、表現力等の資質・能力を育成することがねらいである。特に、感染症を予防する際ポイントとなる「感染源の排除」「感染経路の遮断」「抵抗力を高める」ことについて科学的に理解することを目指している。

本時の学習を踏まえ、本単元は、学級活動の内容(2)「エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」等と関連を図ることができる。例えば、感染症を予防するための方法について、養護教諭や学校医などとの連携により、具体的な行動につながる課題学習により、保健での学びを深めていくことが考えられる。

(2) 総合的な学習の時間との関連

総合的な学習の時間において、「健康」に関する現代的な諸課題に対応するために、探究的な活動に主体的・協働的に取り組み、互いの良さを生かしながら積極的に社会に参画する態度を育むことが考えられる。

感染症は世界的な健康課題の一つである。そのため、今回取り扱った新型コロナウイルス感染症への対応を基に、世界に目を向け、世界の「福祉・健康」について関心を高め、探求的な学習につなげることが可能である。

【参考資料】 ※日常の指導の中で、参考資料などを用いて適切な指導を行ってください。

感染症の予防と対応

感染症予防の三原則は、「感染源の排除」「感染経路の遮断」「抵抗力を高める」である。

ア「感染源の排除」とは、患者の隔離、汚染源の排除、消毒などにより感染源となるものを除去することである。学校においては、流行情報の把握や健康観察等による感染症の兆候の早期発見、早期治療勧告、有症者の管理、汚染物の適切な処理などにより感染源となるものを遠ざけることである。

イ「感染経路の遮断」とは、日頃から、手洗い※1や咳エチケット※2、換気、食品の衛生管理などを徹底させ、体内に感染源(病原体)を入れないようにすることである。

ウ「抵抗力を高める」とは、バランスのとれた食事、適度な運動、規則正しい生活習慣を身に付けたり、予防接種を受けるなどして免疫力を高めることである。

※1 手洗い

正しい手の洗い方



手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

出典：首相官邸HP

※2 咳エチケット

咳やくしゃみをする場合、ハンカチ、タオル、ティッシュ等で口を覆い、飛沫を周りの人に浴びせさせないようにする。ハンカチ、ティッシュ等がない場合は、手のひらでなく、肘の内側で口を覆う。



【新型コロナウイルス感染症に関する参考資料】

○新型コロナウイルス感染症に備えて

～一人ひとりができる対策を知っておこう～ (首相官邸・厚生労働省)

(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>)

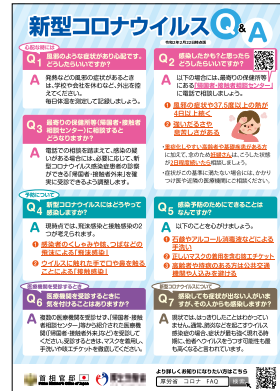
○感染症対策 (首相官邸・厚生労働省)

○新型コロナウイルス感染症Q&A

(首相官邸・厚生労働省)

<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000059534.pdf>

<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000060227.pdf>



○感染症対策

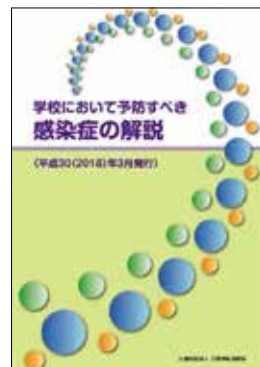
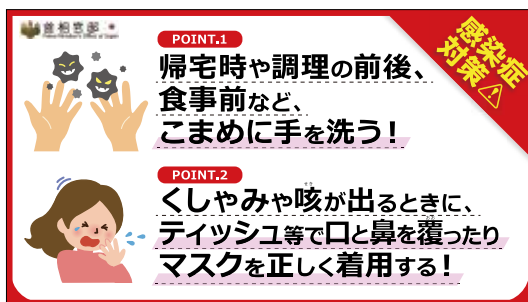
(首相官邸)

<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000058988.pdf>

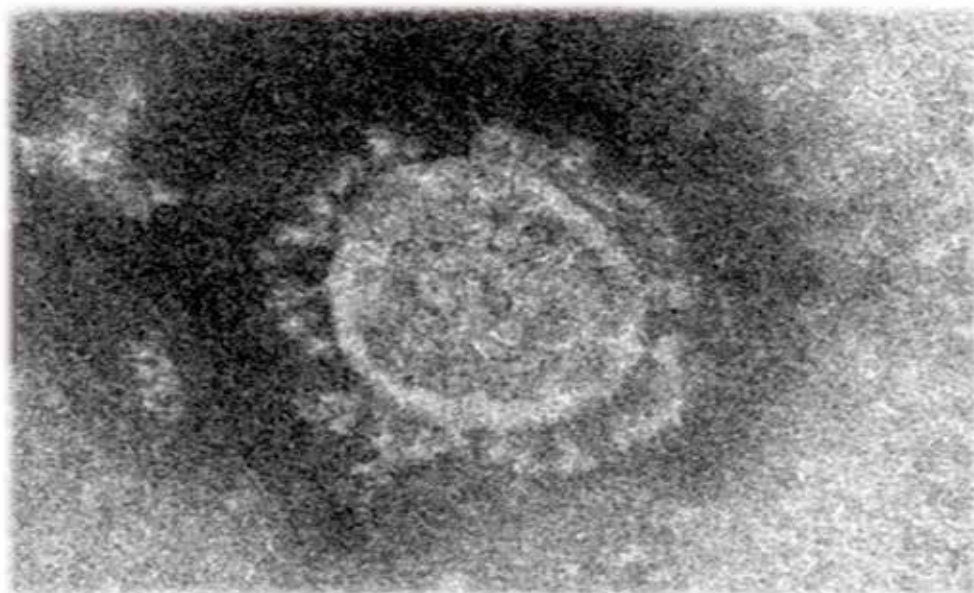
○学校において予防すべき感染症の解説


(日本学校保健会平成30年3月)

<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000058988.pdf>



単元名「感染症の予防」
(新型コロナウイルス感染症)



 文部科学省 国立感染症研究所が撮影した新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真

資料1

感染症を予防する方法ってあるの？



対策のポイント

感染源を
絶つ

殺菌消毒



感染経路を
絶つ

清潔・清掃・衛生管理・検疫等



抵抗力を
高める



かけがえのない自分、かけがえのない健康(文部科学省平成30年度版)【中学生用】P35を一部改編



誤った情報や認識、不確かな情報に惑わされた言動例

感染者が多い国やその国の
方々への誹謗中傷やSNS等
での心無い書き込み

感染者やその家族、対応し
ている医療関係者等への不
当な偏見や差別、いじめ

感染者が出た施設に対して、
その施設の使用禁止などの
風評をSNS等に書き込み

海外から帰国された方や海
外での日本人等に対する不
当な偏見や差別、いじめ

正確な情報や科学的根拠に基づいた行動が必要



紀元前から人類は様々な感染症とたたかってきました。時には感染症の大流行で文明が滅びたこともありました。

時代	世界で流行した感染症	日本の感染症事情
紀元前	エジプトのミイラに痘そう（天然痘）や結核のあとが残る	
6世紀	天然痘がシルクロードから運ばれる	天然痘流行(奈良時代)
14世紀	ペスト（黒死病）の流行（ヨーロッパの人口の 1/3 を失う大流行）	
16世紀	世界に広がる梅毒の流行（大航海時代）	
17～18世紀	天然痘、発疹チフスの流行 ジェンナーの種痘の発見	江戸末期にコレラ、明治にペストが入ってくる
19世紀	コレラ、結核の流行	日本人が貢献
19世紀末	コッホがコレラ菌、結核菌を発見、北里柴三郎がペスト菌、破傷風菌を発見、志賀潔が赤痢菌を発見。パスツールがワクチン療法発見	
20世紀	インフルエンザ、エイズの流行	1976日本での種痘中止
1980	WHO による天然痘根絶宣言	
21世紀	SARS、新型インフルエンザの発生	

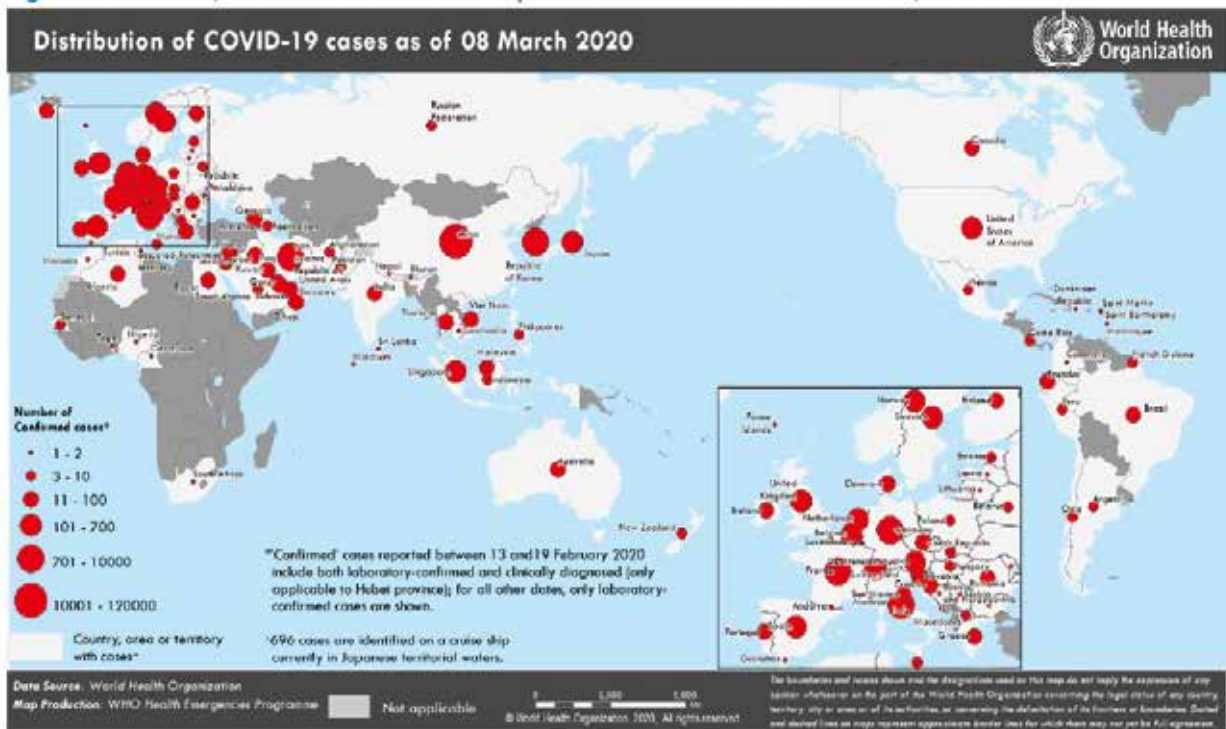
新型コロナウイルスの発生

かけがえのない自分、かけがえのない健康(文部科学省平成30年度版)【中学生用】P34を一部改編

資料4

新型コロナウイルス感染症分布の状況(2020.3.8現在)

Figure 1. Countries, territories or areas with reported confirmed cases of COVID-19, 08 March 2020



WHO HPより <https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/situation-reports/20200308>

資料5

感染症を予防する方法ってあるの？



感染症を成立させる条件としては感染源(病原体)、感染経路、人(主体)の三つをあげることができます。このうちどれかをSTOPすることにより、感染症を予防することができます。

対策のポイント

感染源を絶つ

殺菌消毒

殺菌消毒の方法は病原体により様々です。

感染経路を絶つ

清潔・清掃・衛生管理・検疫等

皮膚・衣服の清潔、住居の清掃、水道の整備、衛生的な食料の流通・保管、冷蔵

抵抗力を高める

でこりよく

バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠、予防接種

※抵抗力とは……病原体などに打ち勝つための体力や免疫力のことです。免疫とは自分を病原体から守る仕組みです。例えば血液中の白血球の一種が侵入した病原体を攻撃するなどの働きをします。

かけがえのない自分、かけがえのない健康(文部科学省平成30年度版)【中学生用】P35を一部改編

本時の学習を振り返り、分かったことや考えたことを書きましょう。



○感染症を予防するための三原則を思い出しましょう。

○感染してしまったとき、感染を拡大させないためにどのような行動をとればよいでしょう。

○感染症に関する差別や偏見をなくすためにはどうしたらよいか考えましょう。

